

平成29年度「徳島県水防の日」学習会を実施しました

本年4月1日に施行された「徳島県治水及び利水等流域における水管理条例」における「水教育」の一環として、「徳島県水防の日^{*}」である6月5日と翌6日に、次世代を担う子供達を対象に、水防や治水等に関する体験、学習を通じて知識を深め、水防・防災への意識を高めてもらうため、「徳島県水防の日」学習会を実施しました。

※「徳島県水防の日」である6月5日は、「気象庁が発表している過去30年間の四国地方における平年の梅雨入り日」であり、県民の皆様に出水期前に水害に対する備えを改めて認識していただくために設定しました。

1. 開催日、実施場所及び参加者

平成29年6月5日(月) 徳島市立富田小学校5年生 児童44名
6日(火) 徳島市立新町小学校4年生 児童21名

徳島県庁1階 すだちくんテラス など

2. 学習会の内容

■排水ポンプ車の見学

浸水が発生した際に機動的に出動し、浸水箇所の水の排除を行う「排水ポンプ車」の見学をしました。排水ポンプの稼働実演では、児童は「水の勢い」と「ホースの固さ」に驚いていました。



■水防に関する実技の体験

徳島県防災エキスパートの皆さんから水防工法の基本となる「ロープワーク」と簡易水防工法（水のう工法）の実技を学びました。初めてのロープワークに悪戦苦闘していましたが、一人で結べた時はみんな笑顔でした。



■川や治水・水防等に関する講座

本県の河川の特徴，洪水被害の状況や過去の浸水被害を伝える史跡の紹介等を行うとともに，水害から自分の命を守るためにすべきこと等について学びました。

6月5日の学習には飯泉知事に参加をいただき，児童からの治水や水防についての質問や感想，気づきの発表を通じて，交流を図りました。



今回の学習会を通じて，川への関心や正しい知識を持ち，水防・防災の意識を高めてくれるものと考えています。